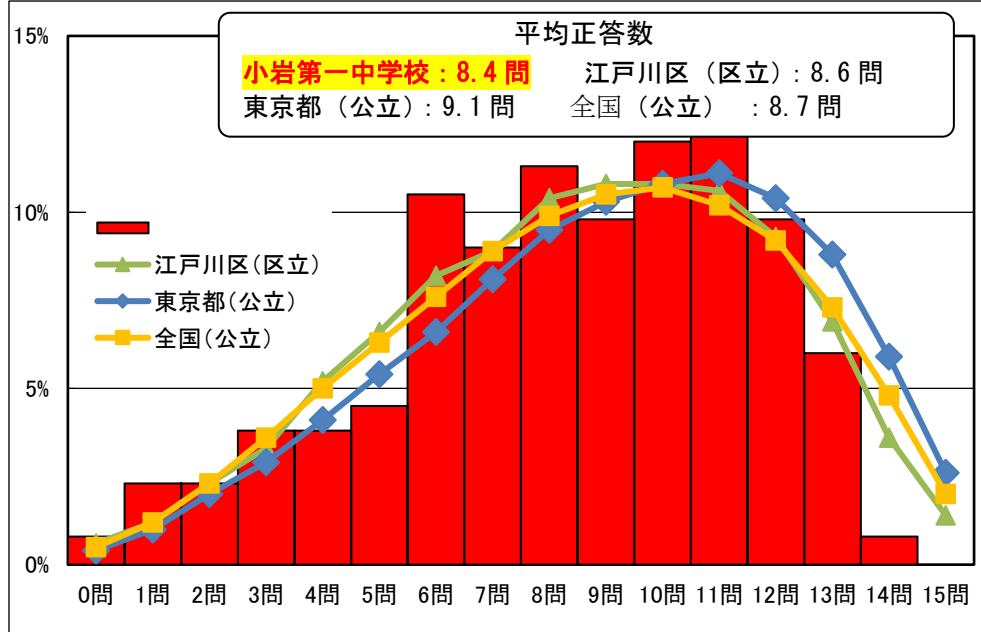
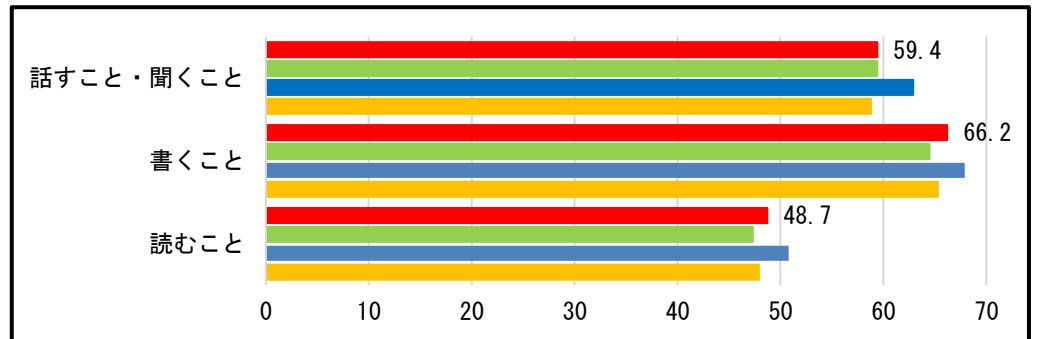
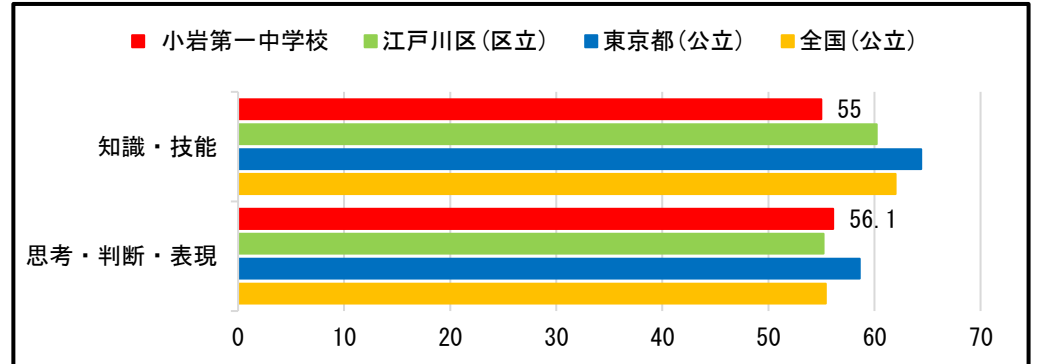


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小岩第一中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

| 国語 | 上位 ← 下位 | | | |
|----------|--------------|-------------|------------|------------|
| | A層 12~15問 | B層 9~11問 | C層 7~8問 | D層 0~6問 |
| 小岩第一中学校 | 16.6 | 35.3 | 20.3 | 28.0 |
| 江戸川区(区立) | 21.2 | 32.2 | 19.3 | 27.3 |
| 東京都(公立) | 27.7 | 32.2 | 17.6 | 22.5 |
| 全国(公立) | 23.3 | 31.4 | 18.8 | 26.5 |

【平均正答率の差】

| | |
|----------|--------|
| 小岩第一中学校 | 56.0% |
| 江戸川区(区立) | 57% |
| 東京都(公立) | 61% |
| 全国(公立) | 58.1% |
| 都との差 | -5ポイント |

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・「知識・技能」は都や区を下回っているが、外国籍の生徒や特別支援の生徒が多く、言語はすぐには上達が難しい。今後、語彙や日本語の指導に特に力を入れていきたい。
- ・「書くこと」は昨年度と同様に都や区を上回っているが、日頃から感想や表現の学習に力をいれている成果が出ているのかと思うので、引き続き指導していく。
- ・「読むこと」は少し下回っており、ワークシートや練習問題で読解力を向上させる指導を徹底していきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。